

Catalyst 1200および1300スイッチのAuto Surveillance VLAN

目的

この記事の目的は、Catalyst 1200/1300スイッチのAuto Surveillance VLAN(ASV)機能とその設定手順を復習することです。

適用可能なデバイス | [Software Version]

- Catalyst 1200 | 4.0.0.91([データシート](#))
- Catalyst 1300 | 4.0.0.91([データシート](#))

概要

カメラなどの監視デバイスと監視機器の間のネットワーク通信は、より高い優先順位を与える必要があり、組織内の監視インフラストラクチャを構成するさまざまなデバイスが相互に到達可能であることが重要です。通常、ネットワーク管理者は、すべてのサーベイランスデバイスが同じVLANに接続され、このVLANおよびこの優先度の高いトラフィックを許可するようにVLAN上のインターフェイスを設定していることを確認します。

ASVは、ネットワーク上で定義された監視デバイスを検出し、それらをVLANに割り当て、トラフィックの優先度を設定することで、このセットアップの側面を自動化します。サーベイランスデバイスは、OUIとMACアドレスのリストを作成して定義します。サーベイランストラフィックの最大32の送信元は、MACとOUIを任意に組み合わせて定義できます。

ASV VLANの作成

ASVはスタティックVLANでのみ有効にでき、ASV VLANとして設定されたVLANは削除できません。

手順 1

Catalystスイッチにログインし、VLAN Management > VLAN Settingsの順に移動します。

▼ VLAN Management

VLAN Settings

手順 2

VLANを追加するには、プラス記号をクリックします。

VLAN Settings

VLAN Table



手順 3

VLAN IDとVLAN Nameを設定し、Applyをクリックします。この例では、VLAN IDは5で、VLAN名はAuto Surveillanceです。

Add VLAN

X

VLAN

VLAN ID: (Range: 2 - 4094) **1**

VLAN Name: (17/32 characters used) **2**

VLAN Interface State: Enable

Link Status SNMP Traps: Enable

Range

VLAN Range: - (Range: 2 - 4094)

3

Apply

Close

ASV設定の構成

手順 1

ASV用のVLANを選択するには、VLAN Management > Auto-Surveillance VLAN > ASV General Settingsの順に移動します。

▼ VLAN Management 1

VLAN Settings

Interface Settings

Port to VLAN

Port VLAN Membership

▶ Voice VLAN

▼ Auto-Surveillance
VLAN 2

2 ADVANCED CONFIGURATION

手順 2

Auto-Surveillance-VLAN IDドロップダウンメニューから、ASVのVLAN IDを選択します。

ASV General Settings

Auto Surveillance-VLAN ID:

None ▾

None

1

5




✱ CoS:

✱ Membership Aging Time:

手順 3

Surveillance Traffic Source Tableの下にあるプラス(+)アイコンをクリックします。

Surveillance Traffic Source Table

Source Address/Prefix **Description**

手順 4

監視トラフィックの送信元を追加するには、OUI PrefixまたはMAC Addressとして Source Typeを選択します。表示されたフィールドにSourceと入力します。オプションで、Descriptionを追加して、Applyをクリックできます。

Add Surveillance Traffic Source X

Source Type: OUI Prefix 1 MAC Address

Source: (3 Octets) 2

Description: (0/32 characters used) 3

4

手順 5

特定のポートでASV VLANを有効にするには、VLAN Management > Auto-Surveillance VLAN > ASV Interface Settingsの順に移動します。

▼ VLAN Management 1

VLAN Settings

Interface Settings

Port to VLAN

Port VLAN Membership

▶ Voice VLAN

▼ Auto-Surveillance
VLAN 2



ASV General Settings

手順 6

インターフェイスを選択し、editをクリックします。

ASV Interface Settings

ASV Interface Settings Table

Filter: *Interface Type* equals to

	Entry No.	Port	Surveillance VLAN Membership	
			Administrative	Operational
<input checked="" type="radio"/>	1	GE1	Disabled	Disabled
<input type="radio"/>	2	GE2	Disabled	Disabled

ステップ7

インターフェイスのAuto Surveillance VLAN Membershipを有効にし、Applyをクリックします。

Edit ASV Interface Settings

X

Interface:

Port GE1 LAG 1

Auto Surveillance VLAN Membership: Enable

2

Apply

Close

結論

行け！ Catalyst 1200または1300スイッチでASVを設定している。

Catalyst 1200および1300スイッチの詳細については、次のページを参照してください。

- [Cisco Catalyst 1200または1300シリーズスイッチにアップグレードする理由の機能比較](#)
- [Cisco Catalyst 1200および1300シリーズスイッチAt-a-Glance](#)

その他の設定と機能については、『Catalystシリーズ[アドミニストレーションガイド](#)』を参照してください。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。